

一般会計予算

総質疑数243件（本会議135件、委員会108件）

《主な質疑》

教育相談室（広域適応教室）の建物購入は必要なのか



新しい教育相談室（武道館隣）

問 今の場所は駅に近く歩いて行けたが、新しい場所では不便はきたさないのか。子育て支援センターや既存の施設に移ることは考えなかつたのか。借りるという選択はなかつたのか。

答 利用者は、車での送迎が限られることがあります。いろいろな場所を検討しましたが、子どもたちの立場を考え静かな環境を重視しました。借りるという選択はありませんでした。

細川紙のユネスコ登録に向けて

問 この1年間、町はどのような事業に取り組むのか。

答 周知活動が中心になると、懸垂幕を役場庁舎内と伝統工芸会館に張り出しました。細川紙を使った児童・生徒の作品コンテスト、伝統工芸会館との協議もありますが、夏休みを中心子ども向けの無料バス券を発行して和紙の展示物を見てもらい、決定時期（11月ごろ）にはフォーラムのようなものを開いていきました。

和紙体験学習センターの役割と充実は。

答 より多くの方が見学・実習できるように、さらに全国の和紙作品が展示でき、貴重な資料が保管できる場所として位置づけていかなければと思っています。指定管理契約の修正等もお願いすることになります。接遇面でも十分に対応できるよう指示しています。

答 観光的要素を持ち、気軽に紙漉き体験ができる場所として位置づけていかなければと思います。

後継者を育成するには費用がかかるが、研修者本人には手当は渡っているのか。

答 国・県・小川町・東秩父村の4者から補助金を支払っています。細川紙技術者協会も一部負担をし、研修者に対して1日当たり5800円の手当で支給しています。

答 特定健診に比べると後期高齢者の健康診査は充実しているとは言えない。利便性は図られたのか。

答 新年度から対象者枠を360人に、申請窓口を拡大しパトリア・福祉課、公民館などでも受け付けます。

伝統工芸会館の役割は。

答 観光的要素を持ち、気軽に紙漉き体験ができる場所として位置づけていかなければと思います。

議会だより
あがわ 第71号



一時保育事業が始まった竹沢保育園

子育て支援センターの民間委託

答 子育て支援センターが民間委託となるが、職員の研修の場や役場との連携がしつかりとれるのか。町側の対応は。

平成26年度予算

総額166億9192万円

一般会計 97億9000万円

特別会計 69億192万円

国民健康保険	34億2470万円
後期高齢者医療	3億3700万円
介護保険	23億5291万円
下水道事業	7億574万円
農業集落排水事業	8157万円

（千円単位四捨五入）

問 本来ならば、町民のために活用される予算。駐車場の拡張により、相生橋の歩行者の安全を確保するための整備が

答 報車を1台購入します。さらなる活躍を期待しています。

問 栃木親水公園関連

答 最近は、遠方からの利用者も増え、駐車場が不足しています。また、今後も県の川のまるごと再生事業の進捲にあわせて集客が期待されています。駐車場の拡張を図ります。

一時保育事業が拡大されるが

問 栃木親水公園の拡張に至った背景と具体は。

答 最近は、遠方からの利用者も増え、駐車場が不足しています。また、今後も県の川のまるごと再生事業の進捲にあわせて集客が期待されています。駐車場の拡張を図ります。

町立学校のエアコン設置

問 一時保育事業を竹沢保育園で開始するとのことだが、職員の配置や保育時間、情報提供は。

答 警察と協議し、歩行部分にカラーブラッディング（グリーンベルト）を設けて、歩行者の安全を確保しています。ドライバーの方も配慮され、お互いに譲り合つて交互通行をしていただいているので、安全は確保されていると考えています。

答 1歳児から受け入れ、1日3人程度を見込んでいます。臨時職員を1人配置します。保育時間は8時半から16時半の間です。入所説明会などでも情報は提供してきました。広報やホームページ等でも行なっています。

ホームページのリニューアル

問 充実される内容は。

答 お子さんからお年寄り、障害者や外国人の方まで幅広くアクセスしていただけるよう、公平性と利便性を図ります。委託業者のノウハウと今までの閲覧状況を踏まえて、

二ページに合った当町版のホームページの作成を考えています。あわせて公式携帯サイトの充実も行ないます。

土砂災害ハザードマップの作成

問 避難場所の設定や訓練等の実施は。

答 まずは危険箇所の周知を第一に考えています。今後は、このハザードマップをもとに、土砂災害に対する避難経路や場所の再考も必要になつてくると考えています。

問 非常備消防費の増額の主な理由は。

答 女性消防団の活動用に広

駅北側整備事業は

問 小川町駅北側の整備事業（測量など）について、今後の計画は。

答 鉄道会社等との協議や、道路確保のための用地の資料にします。北口開設に向けて、一步を踏み出しているということです。

後期高齢者の健診

問 特定健診に比べると後期高齢者の健康診査は充実しているとは言えない。利便性は図られたのか。

答 新年度から対象者枠を360人に、申請窓口を拡大しパトリア・福祉課、公民館などでも受け付けます。

伝統工芸会館の役割は。

答 観光的要素を持ち、気軽に紙漉き体験ができる場所として位置づけていかなければと思います。

議会だより
あがわ 第71号